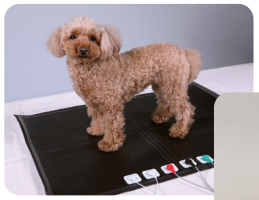

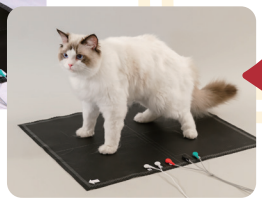

HEART CHECK

ハートチェック®サービス

猫の健康検査に活用しています。

ハートチェックをどのように日常の診察にご活用いただいているのかについて、インタビューを実施しました。導入のきっかけや診療への活用法など様々なお声をいただきましたので、ぜひ導入検討のご参考にご一読ください。

2025年1月から導入

風の動物病院 様

〒901-0244　沖縄県豊見城市宜保3-1-10

院長　足立 行庸先生

ご経歴

琉球大学　理学部生物学科（現海洋自然科学科）卒業
北里大学　獣医畜産学部獣医学科　卒業
大阪市内の動物病院勤務
京都府内の動物病院勤務
2016年　豊見城市にて「風の動物病院」開院

Q1 ハートチェック導入のきっかけは？

物産アニマルヘルス株式会社の担当営業員の熱心な勧めで興味を持ちました。

Q2 ハートチェックをどのように日常の診察に活用していますか？

避妊・去勢手術の前の検査、ワクチン接種時に血液検査などをお勧めしており、それに申し込まれた飼い主様には無償でハートチェックの測定を実施しています。また術前検査やキャットドックのような健康検査を希望された場合にも実施しています。

Q3 ハートチェックを飼い主様にどのように勧めていますか？

勧めるというよりも健康検査などに組み込んでいるので、こちらから特に勧めていることはありません。

Q4 ハートチェック測定時に、特に気をつけていることはありますか？

無理にはやらないことです。落ち着かせてできる猫のみ測定しますが、8〜9割は測定できます。聴診である程度の不整脈、頻脈はわかりますので、ハートチェックはあくまでも補助検査として考えています。

Q5 測定に関する院内オペレーションで工夫していることはありますか？

特にはありません。測定は私自身が実施しています。

Q6 ハートチェックを受けられた飼い主様の反応はいかがですか？

まずは、シートで心電図が気楽に測れることに驚かれます。猫は寝かされること自体を嫌がるので、飼い主様が話かけながら測定できることが高い評価につながっています。また、肥大型心筋症があまり知られていないので波形を見ながら説明することで飼い主様の啓発にもなっています。

Q7 ハートチェックのAI解析結果がもとで、心疾患の発見につながった例はありますか？

まだありませんが、エコー、NT-proBNPをあわせて、心疾患のリスクが高まっているため定期的に見ていく必要があると感じている猫は何頭かいます。

Q8 ハートチェック最大の魅力は？

気軽に導入できるし、ものものしくない。飼い主様の安心感が高いことです。

Q9 今後、ハートチェックに期待することはありますか？

今後、いかにAIに追加学習させていくかというところと、猫はノイズが大きくなりがちなのでノイズを除去した一連の波形がもっと明瞭になれば良いですね。肉球を濡らされることを嫌がる猫もいますし、箱座りする猫もいるので、クリップタイプも別にあると良いのかなと思います。

物産アニマルヘルス　開発担当者より

肉球を濡らすのが嫌がる子はシートを予め濡らしてから乗せると良い結果になることがありますので、一度お試しください。